

住民参加で、活力ある池田町であり続けるために



遠藤和雄 議員

池田町も将来避けて通れない少子高齢化の時代を迎える。生産人口の減少、高齢人口の増加は余儀なくされ、町財政にも大きな影響を及ぼすと思われる。財政基盤の活性化対策等により人口減少に歯止めをかける施策を講じていかなければならぬ。町民の自意識を向上させ、協働・参画の認識を持ってもらう施策が大切である。幅広い世代の参加意欲のある方にも考慮した、諸会議や会合等の曜日や時間帯を考えて、参加意欲のわく環境をつくるのが大切である。

町長

第五次総合計画・町づくり条例の制定にあたり、夜土・日にやってはきたが、土・日については家族サービスもあり出来るだけ避けてきた。その時々の方の会議の持ち方によって皆さんの意見を聞いて出席して頂ける状況を作っていくのが必要だと考える。

情報公開が町民参加のスタートラインとして、政策決定過程での透明性や、予算編成過程での住民の意見や提案を聞く環境はできないか。そのうえで具体的な事業に対する予算額の記載や事業内容を紹介し、実施過程や結果について検証し進捗状況を公表し、情報を発信していくことが、町政に対する関心を深めると思うが。

町長

予算編成過程での日程的なこともあり、又人員配置も考慮しなければならぬので全て情報を流すことは難しい。機会あるごと主要政策については説明させていただき理解を頂けるよう進めていきたい。

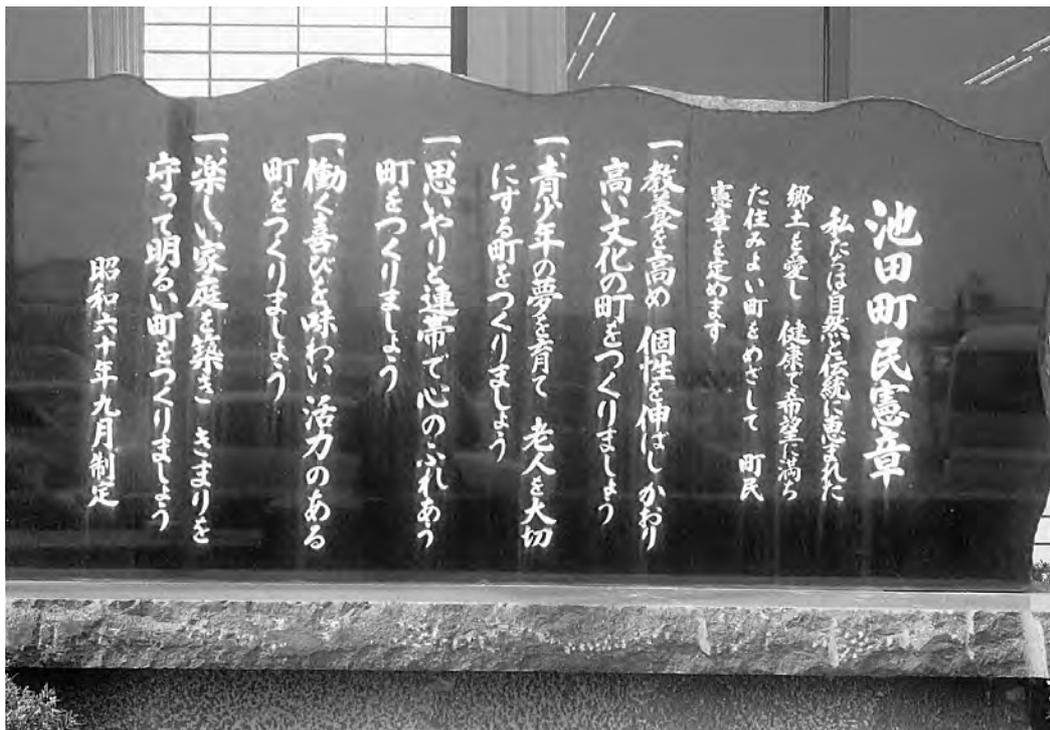
昭和60年に制定された池田町民憲章と、平成7年に合併40周年記念に作られた池田町の歌を知ってもらうことが、町民の一体感の醸成と郷土を愛する心を育むとともに町勢の発展につながるのではないかと。

町長

町民憲章は成人式に新成人に毎年朗読してもらっている。今後も続けていきたい。

池田町の歌は、成人式に少

年少女合唱団に歌ってもらっている。今後、時期をとらえながら国体のテーマソングと並行しながらやっていくことが必要ではないかと考える。



庁舎にある町民憲章の石碑